

安全・安心分野におけるニーズ・シーズの把握とマッチング

担当：科学技術・イノベーション担当

解決すべき 問題・課題

安全・安心分野における、それぞれの単一分野における研究開発を実施する際、ニーズを解決する技術シーズを有する企業や研究機関等を公募し、応募、審査を行い、技術シーズの収集が図られている状況。技術シーズの収集対象範囲がニーズに関連の深い分野に限定されがちになり、ニーズ解決のためのより適切な技術シーズが入手できる環境となっていない。

上記問題・課題 と事業との関係

安全・安心に関わるニーズに対応した具体的な技術シーズについて、政府内で一元的に集約・共有し、政策に結び付ける必要がある。分野横断的な視点を有した目利き人材を活用することで、広い分野における技術シーズの探索が可能となり、ニーズを解決するためのより優れた技術シーズが選定される(マッチング)。本件は、上記を実現するためのマッチングの仕組みについて、調査・検討を行うものである。

アクティビティ (事業概要)

目利き人材を活用したマッチングの仕組みについての調査・検討。

アウトプット (活動実績)

調査・検討の結果に基づいて、マッチングの仕組みを構築。

・マッチングの仕組みの有無

アウトカム

(活動実績がもたらす状況の変化、人の行動変容、その他成果)

(※)時間軸で初期→中長期で設定。

初期(※)アウトカム
マッチングによって特定された重要技術について、研究開発を行う。

・研究開発実施件数

中長期(※)アウトカム
マッチングにより特定された重要技術について、社会実装を行う。

・社会実装に至った件数

インプット(予算)

【R2年度】28
(単位：百万円)

その他の関連事業、施策

- 官民研究開発投資拡大プログラム (PRISM)「革新的建設・インフラ維持管理技術／革新的防災・減災技術」
- 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「国家レジリエンス(防災・減災)の強化」

インパクト(社会的な影響)

安全・安心分野における将来の活用が期待される技術や適切に管理すべき分野の早期発掘、特定に繋げ、国及び国民の安全・安心を実現。

事業により直接コントロールできない部分

(注1)アウトプット及びアウトカムの点線枠内には、何をもちてアウトプット及びアウトカムを測るのかを記載する。

(注2)アウトカムを定量的に測ることが困難な場合には、代替となる事項をもつてアウトカムを測ることの相当な理由も同枠内に記載する。